

2

JAPAN

10

mill

8
7
6
5
4
3
2
1

4
5
6
7
8
9
10

1
2
3
4
5
6
7
8
9
10

上州
草津 温泉名所旧跡
全

260002 群馬県立図書館



荒井豊治

國利画

上州草津温泉名媛舊跡



天宿
ち尻
タグ
うまゆ
ふじとる
宿舎の
福祿寿禄

万亭旅館

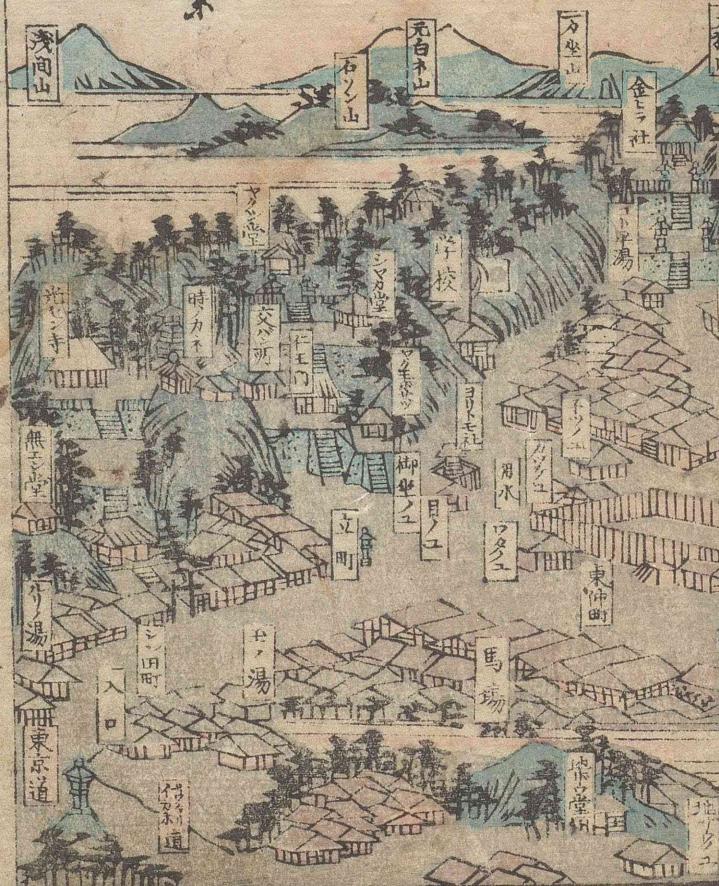


天宿
ち尻
タグ
うまゆ
ふじとる
宿舎の
福祿寿禄

万亭旅館

次豐井荒

奉爲二神
國民の病疾
を祈る
の生れ
をもと此豊
葦原中津國と
かくらひ醫業
咒術湯氣と
此水一を湯



K295.3
J25

草津温泉

上野國吾妻郡
草津村



井豊治



温泉功経

志 つ ひ ゼ ん

か さ ふ な で る

よ う な ま う よ こ ね

譽 ぐ う と こ む 一

た へ ど く 血 の や ま ひ

せ ん き そ ん を く

が ん ぐ さ あ つ ま い

ううとぞかをどふ貴とん温泉がうちみ
今の人へ醫業のとむと切て温泉の効
をあう者強どがし
古人雙極先生の著一ゆる温泉が
云の書へ温泉が池の理發きらめ
病癒によくと益むると害あると
差別と根柢一これを醫者と詔
め傭人も必ず心得べたりのみとば
其書のえトも紙あみ歩を
丸そ温泉の功發へ湯乞旅室通

トヨム局癒と化導き肌體強
而ミリ回廊をよく利一經後
氣血取めべし一切の癆血と
破り難癌於毒を排き托ひ一
癌洋り死めべし一經と之を
酒とすり腰痛心癥胸腹腰の
眼とすり腰痛脚のだらんに足の
筋肉手足のかよひコロハを取又
骨頭骨筋人の血積瘀血經行不順
常下腰冷や熱一切の病ひふり
又温水よ室へゆる病ひ人乳血
虚換勞倦不足の症失血一く津
海乾燥の人脾胃虛勞の人勞嘔利
熱虚熱の人堅く渴き坐立不安
瘧一等病たうとも虛弱の人ハ必モ
瘧まくと云々

詠	宿泊と	お一は
居	あまひ	たちゆく
此の湯の泉樂ち	ゑびれ	
あらがくすらダヤエ		
熱トヨム年多シ		
己3血のどくわう		
おりからう一切の病ひ		
梅毒のうあふ効力		
たゞ一激とて病ひ		
その入湯と浴意を		
至一とあり		

旅店人名沈市川村又布
市川山車松屋田玉之布義
市中林屋左近十布義市
新納伊之布義市川源長
市川源長又布義市中林屋左近十
市川源長又布義市中林屋左近十
市川源長又布義市中林屋左近十
市川源長又布義市中林屋左近十
市川源長又布義市中林屋左近十
市川源長又布義市中林屋左近十
市川源長又布義市中林屋左近十

治豊井菜



湯之驚

湯
名
身
事
事
事



名より

脚丸の湯
入湯せられ
湯あり
物朝云の
ゆ湯かづけよ
發らるがゆ



御産の湯
此名と
ゆふべ



第國第一
湯之勢

湯のあらそ
此名と
ゆふべ



天狗
滝

滝

不動滝

滝

蹴の湯

草津

四

市細田湯中市中市羽佐山神泉湯湯汲市川善
川野村本源深門田能林一
市長彦一
市大又
市平
市遠
市十
市平治
市十

市山小中湯山小中湯山中市山中市山中市
市川源利本源八
市平治平吉布市平吉布市平吉布市
市源八布市源八布市源八布市源八布
市吉布市吉布市吉布市吉布市
市源八布市源八布市源八布市源八布
市源八布市源八布市源八布市源八布
市吉布市吉布市吉布市吉布市
市源八布市源八布市源八布市源八布
市吉布市吉布市吉布市吉布市
市源八布市源八布市源八布市源八布
市吉布市吉布市吉布市吉布市

持家

韓清

五

千代の湯

むじき鶴の毛衣と
湯山一湯

きうとうよ



地藏の湯

ち
乳の子とおも
みぬれた湯

あそー



綿の湯

けい
綿足とひき
りくふく名と
くわくちくよー



松の湯

まつ
松の湯
櫻手をく



伊雑保の當所へ里移
伊雑保

五町田

中の木二里半

里半

草津

伊雑保の當所へ里移

五町田

中の木二里半

里半

風の湯

かんくきの
泉せせら湯

中木二里半

里半

琴平の湯

きんひや
根の
あくしきとく

里半

琴平の湯

きんひや
根の
あくしきとく

中木二里半

里半

小生草

小生草

里半

養取宿

養取宿

里半

雨宿

雨宿

里半

君子の湯

湯法とき
而店

此湯人多

當所ヨリ諸方へ里程
東京四十五里
高崎十七里

前保十八里
伊香十八里
保十八里
十八里

贊川の湯

此湯入在
食物の味

此湯人多

富山二里
白根山二里
加沢温泉九里
万座温泉二里
鷹越温泉二里

蜀の湯

蜀の湯
と潤き
うるおゆ



國の湯

同や人の人よ
勤め



上志浅間山
善光寺田山
飯坂山
須坂山
高野山
松原山
新今高

雞の湯

此湯入る
者花の
姿と多よ

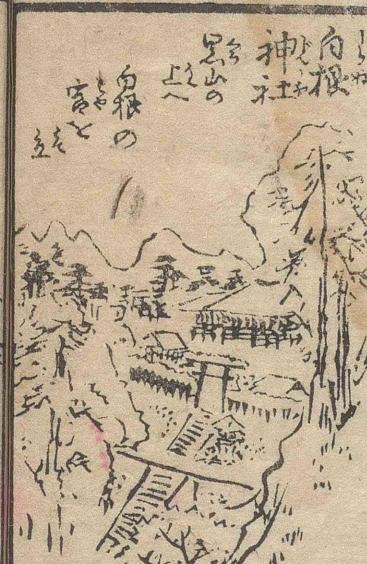


白壽の湯

通の者
は湯入れ
白玉の色と多よ

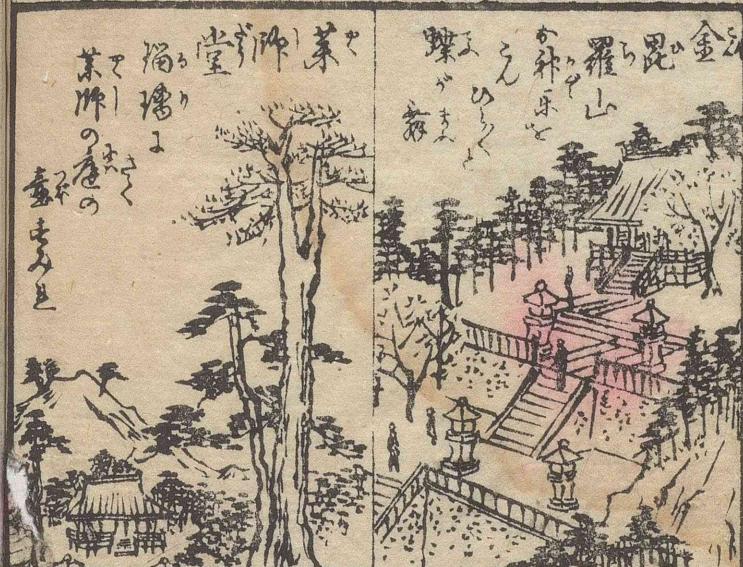


草津十二景



井ノ豊

點然而風既暮。春秋六七日也。問其答曰。孔子曾晳之志。夫舞者。成人也。童子者。童也。浴乎沂。風乎舞雩。咏乎舞雩。吾與子。六五服也。



常科第4年





御届明治五年五月言 編輯人 服部應賀

東京下谷山田町三番地

上島草津

寫真師

山本

充造

宮原

團十

宮原

市藏

版元

長谷川忠兵衛

東京神田鍛冶町六番地



大島村
圖鑑

群馬県立図書館



0296340-3